

保護者へのアンケート結果報告(令和3年)

令和4年3月より保護者の皆様へアンケートを実施させていただき、ご回答ありがとうございました。
集計結果は以下の通りとなりますが、「どちらともいえない」「いいえ」の回答もいくつかあり、下記の通り今後の改善していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

スマイルセンター浜村 職員一同

	項 目	はい	どちらとも いえない	わから ない	いいえ	無回答	ご意見・ご希望・事業所からのお答え等
①	子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3	1			・長くいつてないのでよくわからない。 ・ノバリアに行くのが大好きです。 →引き続きお出かけやノバリア等 を活用して走り回ったり運動ができる ように考えています。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	7	1			・よくわかりません。 →適切な配置数となるよう職員を 増やしていこうと考えています。ま た専門性についても外部講師を招 いた研修会や勉強会を行っており、 引き続き継続していく予定です。
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの 設置などバリアフリー化の配慮が適切に なされているか	21	4	1		1	・よくわかりません。 →バリアフリー化はできています が、使い勝手のようように都度工 夫しています。
④	子供と保護者のニーズや課題が個別支援 計画の支援目標に挙げられているか	26				1	
⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫 されているか	20	7				・通所まもないためわからない →ノバリアや遠足、お出かけ、外部 の体操の先生を呼んだり、引き 続き工夫していきたいと思ひます。
⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明がなされたか	23	3			1	→なかなか家族様とお話する機 会がないため、コロナの状況をみ つつお話しする機会を作っていきた いと思ひます。
⑦	日頃から子供の状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解ができているか	25	2				・連絡ノートでできていると思う。 ・ノートにいつも記入されています。 →引き続き連絡ノートにて様子や 情報共有をしていきます。
⑧	保護者に対して面談や、育児に関する助 言等の支援が行われているか	20	7				・通所まもないためわからない →面談の機会はまだなかなか作れて いませんが、支援会議や連絡ノート にて助言等できればと思ひます。

⑨	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	5			1	・すみません、よくわかりません。 ・苦情の対応は今までないのでわかりません(苦情はありません) →苦情については、今後も発生時に迅速に対応させていただいています。
⑩	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2			1	→引き続き支援会議や連絡ノートにて助言等できればと思います。
⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	23	3			1	・通所までもないためわからない。 ・楽しみにしています。 →スマイル通信を数ヶ月に一度発行させていただいており、その中で活動の様子をお伝えしています。
⑫	個人情報に十分注意しているか	25	2				→現在はカルテ等の個人情報のある書類は、鍵のかかる棚にしまったりしていますが、今後も十分注意していきたいと思っています。
⑬	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	22	4	1			→内部的にはマニュアルがあるため、保護者向けに周知、説明していくように致します。
⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	11	2			・通所までもないためわからない。 ・避難訓練参加したことがないと行ってました。 →避難訓練は消火訓練を兼ねて午前中にすることが多いため、午後からの利用者はなかなか参加する機会がありませんが、午後からの利用者も含めて災害時の訓練をしていくようにします。
⑮	子供は通所を楽しみにしているか	26	1				・とても楽しみにしている。 ・とても楽しみにしています。 →楽しみにしている利用者が多くスタッフとしてもとても嬉しいです。また引き続き通所を楽しんでいただけるよう活動、支援内容を考えていきたいと思っています。
⑯	事業所の支援に満足しているか	24	3				→職員のスキルアップや充実を行い今後も満足していただけるような支援を行っていききたいと思います。

※その他お尋ねになりたいことがあればお書きください

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和4年4月19日

事業所名 スマイルセンター浜村

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		10	1	・介助室はいつでも使える状態にしておく方が良いと思う。 ・その日により事務所、食堂など又パーティションなどの仕切りを多用している。 ・生活介護、放デイ、肢体不自由の方等(受け入れるならそれなりの人数が必要)生活スペースを分ける方がよいとずっと思っているがなかなか難しい。 ・部屋の数と広さはありませんが、利用者さんの障がいの特性に応じて分けたりできたらいいと思いますが、スタッフの人数が足りないため難しいと感じています。	・スタッフ人数に関しては、職員の育成も含めてもう1、2名程度増やし、それに伴い障害特性に合わせたスペース、環境作りをしていきます。
	2	職員の配置数は適切である		7	4	・曜日・利用者によっては配置数が不足 ・日によっては足りない日、時間帯があると感じる。 ・休日の関係などにより適切な人そうでない日がある。 ・日によってですが、利用者さんの人数が少なくとも1対1で対応しなければいけない利用者さんが多い時はスタッフが足りないと感じています。	・上記同様、職員の育成も含めてもう1、2名程度増やしていく予定です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	1	・風呂の段差などに気を付けている。 ・玄関やプレイルームの入り口がせまいので車いすの人が通る時ギリギリだと感じます。入り口を広くする、引き戸にするなど…	・現状の古い建物では玄関を広くするためには大規模な工事が必要となるため、今後の課題として検討していきたいと思います。またプレイルームの入り口に関しては、障害特性に合わせた環境作りの中で検討していきたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4		特にCAの部分をもう少しやっていけるといいと思う。	・定期的なCAの機会を作っていくようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3			・当アンケート結果のようにアンケート結果を基に業務改善につなげていく予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4			・引き続きスマイルセンター浜村のホームページにて公開していくようにします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	1		・現状は第三者評価を行う予定はありません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・外部より講師を迎えるなどして機会を作ってもらっている。 ・他事業所の職員さんに講師として来ていただいて研修を開いたり、管理者の方からも研修の案内の話などしてくれています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			・サビ管がききとりを保護者に行い、スタッフ同士でその利用者の方が何を目標としたらよいかを考えて話し合い、サビ管が計画を立ててくれています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3			・アセスメントに関する研修や勉強会にて子供の適応行動の状況把握を深めたいと思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	1	・主に月間当番担当がやっている。 ・カルテ、各担当者会議などでの意見 ・担当さんを主としてどんなことをするかをスタッフみんなで決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	5		・特に午前中の活動の種類が増えるといいかなと思う ・作業訓練にいつもやらない物を少し入れる。	・活動プログラムにイベントやその準備、農作業、遠足などお出かけ等を入れたりしながら固定しないよう工夫したいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	7		・担当スタッフを決め課題に対して必要な支援をしてもらっているが、目的に沿ってできているスタッフとそうでないスタッフがいる。 ・同じような内容になってしまうことが多いですが、スタッフみんなで話し合っって新しいこともできるよう考えています。	・担当スタッフの育成を含めて、課題・支援方法の理解を深めて支援できるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	3		・計画作成はできていないですが、子供の様子に応じてどんなことをするかなど、集団活動なども無理なくしている。(苦手な子には個別)	・担当スタッフの育成を含めて、課題に合わせた個別活動と集団活動を考えていきたいと思っています。

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3	2	・それぞれのスタッフの考えの全体での共有が足りていない。 ・朝の会などでの連絡の確認 ・はじめての利用者さんや支援の中で新しいことがある時、担当が変わる時など、話し合いをしたりノートなどで把握している。	・支援開始前は時間的に難しいので、引き続き支援の合間にて職員同士の話し合いやノートにて支援内容の確認を行うようにしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		8	2	・支援の合間をみて利用者についての支援の仕方等について話し合いをしノートを通して情報共有している。 ・各日の振り返り時間が取れない。 ・カルテ、ヒヤリハットの確認 ・毎日ではないが、できるときに振り返りは行っている（月1回は必ず行っている）	・引き続き支援ノート、カルテ、月ごとの振り返り等で振り返り、気付いた点を共有していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	2			・記録の書き方、支援へのつなげ方に関する勉強会を行い、支援の検証・改善につなげられるようにしていきたいと思います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	2			・引き続きサビ管主導のもとモニタリング、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	5	1		・ガイドラインに関する勉強会を行い基本活動の見直しを行いたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1			・サービス担当者会議には、サビ管が主には参加していますが、場合によっては、より詳しい職員が参加するようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	6			・医療的ケアが必要な子供に関しては、主治医の連絡体制及び依頼されるケア内容の確認をしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3		・送迎時今日の状態に気になることなどあれば話していただく。	・移行支援会議等で情報共有を図るようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	3			・移行支援会議等で情報共有を図るようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	6	1		・引き続き作業療法士などの専門職の方に助言や研修をお願いし、職員のスキルアップを図っていく予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	5		・現状は活動機会を考えていませんが、機会があれば、交流していきたいと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	6	2		・放課後等デイサービス部会を通して意見は出すようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	4		・送迎時特異なことがあれば、連絡するなどあいさつだけでなく少しの会話を心掛けている。 ・毎日の連絡ノートや電話など	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	6	1		・まだできていませんが、職員のスキルアップも含めて今後は保護者へのペアレントトレーニングの支援も行っていきたいと思います。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3			・利用開始時、支援計画更新時において支援内容については説明及び利用者の意図をくみ取るようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2	1		・電話、来所時等に必要に応じて助言をさせていただいています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	3	・以前は保護者の方に来ていただいていたがコロナの影響で集まれていない。	・コロナが落ち着いてきたら再開したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	2			・苦情があったら際は、迅速かつ適切な対応を心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3	1	・スマイル通信 ・手書きであたたかみのあるスマイル通信を作っている。年に3～4回は出せている。	・引き続きスマイル通信や連絡ノートにて活動状況を発信していきたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	9	2		・カルテ等は鍵のかかるところにしまうなど	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	1	・気になる所などがあれば、ノート、TELなどで連絡する。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	3		・外部に向けた事業所の行事を行っていませんが、コロナが落ち着いたら将来的には考えていければと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	5			・勉強会でのマニュアルの再確認及び利用者への周知を行っていくようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2			・引き続き年2回避難訓練を実施予定としています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	3			・令和4年度は虐待研修に加えて虐待防止委員会の設置とその取り組みを始める予定です。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	4	2	・家族が医師からの指示のもと、こちらに伝えては下さっているが、指示書などはみせてもらっていないのでわからない。 ・保護者からの指示のもとで行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			・共有はできているが、忘れてしまうのを防ぐため見直しの機会があると思う。 ・毎日目を通すようにし、会議の時に話し合っている。	